

2014年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会  
事業報告 (2014年4月1日から2015年3月31日迄)

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

名 称：No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

内 容：東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から67年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

報 告：2013年より時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組み、「たのしい作曲」が文部科学省生涯学習政策局社会通信教育の認可がなされた。また通信教育規則の改正に伴い認定社会通信教育講座の修了試験実施要請に際し、理事の松尾祐孝氏中心に修了試験課題（3講座）を完成。文部科学省へ申請中。2015年度は「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けてテキスト作成に取り組む。

名 称：No. 2 「楽譜検定」

内 容：楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

運 営：①ホームページ及び試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ及び試験システムを運営（2013年7月より公開中）。

楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し受験を促す。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置する。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1,000円、3級＝1,500円、2級＝2,000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

#### ⑤プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。  
楽譜を学ぶための支援活動音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行う。

#### ⑥有料グレードの開始について

2015年2月現在、10～8級までの無料グレードのみ公開しており、これまでにおよそ730名が楽譜検定に取り組んでいる。実際に取り組んだ方から「設問が少ない」「再チャレンジが1回しかできないのでは有料グレードは受けたくない」といった意見が寄せられており、このような諸問題及び設問内容を吟味・解決したうえで、有料グレードを開始する。

### 公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

#### 名 称：No. 3「日本管打楽器コンクール」

目 的：このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12 楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞授賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

内 容：「2014年度 第31回日本管打楽器コンクール」（開催）

実施楽器部門：オーボエ・サクソフーン・パーカッション・マリンバ

#### ■オーボエ部門（定員：160名）

会 場 武蔵野音楽大学（東京都練馬区羽沢1-13-1）

第一次予選 8月18日（月）～19日（火）

第二次予選 8月21日（木）

本 選 8月23日（土）

#### ■サクソフーン部門（定員：320名）

会 場 洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市高津区久本2-3-1）

第一次予選 8月18日（月）～20日（水）

第二次予選 8月21日（木）～22日（金）

本 選 8月23日（土）

#### ■パーカッション部門（定員：120名）

会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

第一次予選 8月20日（水）～21日（木）

第二次予選 8月22日（金）

本 選 8月23日（土）

#### ■マリンバ部門（定員：140名）

会 場 東京音楽大学（東京都豊島区南池袋 3-4-5）

第一次予選 8月18日（月）～19日（火）

第二次予選 8月21日（木）

本 選 8月23日（土）

■表彰式及び大賞演奏会 8月29日（金）17:00 開演

会 場 かつしかシンフォニーヒルズ（東京都葛飾区立石 6-33-1）

共 演 東京ニューシティ管弦楽団

指 揮 山下 一史

運 営：運営委員会

運営委員長 尾高 忠明（NHK交響楽団正指揮者）

運営副委員長 吉成 行藏（本公益財団評議員）

運営副委員長 支倉 二二男（公益社団法人日本オーケストラ連盟常務理事）

運営副委員長 松尾 祐孝（本公益財団理事）

運営実行委員長 石渡 悠史（本公益財団理事）

オーボエ部門審査委員長 吉成 行藏（本公益財団評議員）

サクソフーン部門審査委員長 富岡 和男（洗足学園音楽大学副学長・教授）

パーカッション部門審査委員長 百瀬 和紀（日本打楽器協会理事長）

マリンバ部門審査委員長 菅原 淳（東京音楽大学教授）

後 援：内閣府、外務省、文部科学省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館  
文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、豊島区、豊島区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、葛飾区、葛飾区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、日本木琴協会

特別協力大学：武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学、国立音楽大学、東京音楽大学

協 力：日本オーボエ協会、日本サクソフーン協会、日本打楽器協会

協 賛：京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、昭和音楽大学、尚美学園大学、桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、上野学園大学、日本大学芸術学部音楽学科、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、平成音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、株式会社図書出版、東京都民銀行春日町支店、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社グローバル、野中貿易株式会社、株式会社ビュッフェ・グループ・ジャパン、株式会社ドルチェ楽器、日本ダブルリード株式会社、株式会社美ら音工房ヨーゼフ、株式会社石森管楽器、株式会社プリマ楽器、柳澤管楽器株式会社、パール楽器製造株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社斉藤楽器製作所、有限会社バロックミュージック、株式会社フォトライフ、株式会社 JTB 関東

提供楽器：国立音楽大学、東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、株式会社ヤマハミュ

ージックジャパン、パール楽器製造株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社齊藤楽器製作所

報 告：本選審査結果（入賞者）

■オーボエ部門

第1位 荒川 文吉 (東京フィルハーモニー交響楽団首席)  
第2位 荒木 奏美 (東京藝術大学在学)  
第3位 Bomjun Kim (Korea national university of arts)  
入 選 大庭 蓉子 (東京音楽大学卒業)  
入 選 水村 一陽 (桐朋オーケストラアカデミー在学)

■サクソフーン部門

第1位 中島 諒 (東京藝術大学大学院在学)  
第2位 松下 洋 (東京藝術大学大学院在学)  
第3位 齊藤 健太 (洗足学園音楽大学在学)  
入 選 住谷 美帆 (東京藝術大学在学)  
入 選 竹田 歌穂 (東京藝術大学大学院在学)

■パーカッション部門

第1位 岡部 亮登 (広島交響楽団)  
第2位 前田 啓太 (ブラームスホール協会)  
第2位 関 聡 (フリーランス)  
入 選 高瀬 真吾 (東京音楽大学在学)  
入 選 中島 良太 (海上自衛隊東京音楽隊)

■マリンバ部門

第1位 沓野 勢津子 (こおろぎ社マリンバアーティスト)  
第2位 中田 麦 (株式会社太鼓センター)  
第3位 常盤 紘生 (東京音楽大学音楽教育科打楽器アシスタント)  
入 選 牧野 美沙 (東京藝術大学)  
入 選 平光 優里 (愛知県立芸術大学在学)

■第1位入賞者：【文部科学大臣賞・東京都知事賞】

オーボエ部門 荒川 文吉 (東京フィルハーモニー交響楽団首席)  
サクソフーン部門 中島 諒 (東京藝術大学大学院在学)  
パーカッション部門 岡部 亮登 (広島交響楽団)  
マリンバ部門 沓野 勢津子 (こおろぎ社マリンバアーティスト)

■特別大賞：【内閣総理大臣賞】

パーカッション部門 岡部 亮登 (広島交響楽団)

■別賞：【東京ニューシティ管弦楽団 定期演奏会 特別出演賞】

パーカッション部門 岡部 亮登 (広島交響楽団)

名 称 : No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

目 的 : 管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ① 「独自のサウンド」の研究を行う。
- ② 管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③ 時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④ 全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

内 容 : 「2014年度 第20回日本管楽合奏コンテスト」(開催)

予選審査会

2014年9月27日(土)、28日(日)、29日(月) <非公開>

全国大会

2014年11月01日(土) 中学校B部門

2014年11月02日(日) 高等学校B部門

2014年11月03日(月・祝) 小学校部門

2014年11月08日(土) 中学校A部門

2014年11月09日(日) 高等学校A部門

会 場 : 予選審査会/学校法人尚美学園本館

全国大会/すみだトリフォニーホール・かつしかシンフォニーヒルズ

主 催 : 公益財団法人日本音楽教育文化振興会

共 催 : 一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後 援 : 内閣府、文部科学省、東京都、墨田区、墨田区教育委員会、葛飾区、葛飾区教育委員会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟

協 賛 : あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社音楽之友社、株式会社フォトライフ、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社JTB関東、尚美ミュージックカレッジ専門学校、東京ミューズ・アカデミー、ブレーン株式会社、ローランド株式会社

運 営 : 運営委員会は運営委員長の石田修一氏(本公益財団理事)を中心とし、小澤俊朗氏(本公益財団理事)の協力のもと、2014年9月27日、28日、29日に予選審査会が行われた。5部門のうち、小学校部門34校、中学校A部門34校、中学校B部門30校、高等学校A部門33校、高等学校B部門31校を選出した。また20周年記念行事の一環として、昨年に最優秀グランプリ賞受賞校(5校)に対して、特別演奏及び特別表彰の機会を設けた。

報 告 : 全国大会結果

■中学校B部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

日進市立日進中学校

□最優秀賞

松戸市立和名ヶ谷中学校、山口市立小郡中学校、高岡市立芳野中学校、羽村市立羽村

第一中学校、浜松市立開成中学校、北斗市立上磯中学校、松戸市立第一中学校、松戸市立第四中学校、日進市立日進中学校、東郷町立東郷中学校

- 審査員特別賞  
浜松市立開成中学校
- ブレーン賞  
東郷町立東郷中学校
- フォトライフ賞  
越谷市立北中学校
- ヤマハ賞  
羽村市立羽村第一中学校

■ 高等学校B部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞  
春日部共栄高等学校
- 最優秀賞  
出雲北陵高等学校、習志野市立習志野高等学校、作新学院高等学校、東京都立片倉高等学校、大成女子高等学校、東海大学附属高輪台高等学校、春日部共栄高等学校、横浜創英中学・高等学校、東京都立杉並高等学校、千葉県立千葉商業高等学校、箕面自由学園高等学校
- 審査員特別賞  
東京都立杉並高等学校
- ブレーン賞  
出雲北陵高等学校
- フォトライフ賞  
明誠学院高等学校
- ヤマハ賞  
東京都立葛飾総合高等学校

■ 小学校部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞  
柏市立酒井根西小学校
- 最優秀賞  
王寺町立王寺小学校・王寺町立王寺南小学校、広島市立安西小学校、水戸市立笠原小学校、船橋市立高根東小学校、柏市立酒井根西小学校、生駒市立桜ヶ丘小学校、さいたま市立つばさ小学校、高松市立円座小学校、柏市立柏第三小学校、さいたま市立大宮南小学校、武蔵野市立第一小学校、軽井沢町立軽井沢中部小学校、合志市立西合志東小学校
- 審査員特別賞  
王寺町立王寺小学校・王寺町立王寺南小学校、生駒市立桜ヶ丘小学校
- ブレーン賞  
宮崎市立大淀小学校
- フォトライフ賞  
さいたま市立つばさ小学校
- ヤマハ賞  
苫小牧市立豊川小学校

■中学校A部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

紋別市立紋別中学校

□最優秀賞

市原市立双葉中学校、紋別市立紋別中学校、旭川市立東光中学校、春日部共栄中学校、川崎市立玉川中学校、青梅市立第三中学校、大阪市立放出中学校、松伏町立松伏第二中学校、坂戸市立坂戸中学校、青梅市立泉中学校、志木市立志木中学校、仙台市立中田中学校、常総市立水海道中学校

□審査員特別賞

出雲市立光中学校、市原市立双葉中学校

□バンドジャーナル賞

下妻市立下妻中学校

□ブレーン賞

千葉市立稲毛高等学校附属中学校

□フォトライフ賞

出雲市立光中学校

□ヤマハ賞

大洲市立長浜中学校

■高等学校A部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

慶應義塾志木高等学校

□最優秀賞

浜松日体中・高等学校、横浜市立東高等学校、銚子市立銚子高等学校、横浜創学館高等学校、須磨学園高等学校・中学校、七尾学園益田東高等学校、千葉県立銚子商業高等学校、慶應義塾志木高等学校、古川学園高等学校、神奈川県立弥栄高等学校、修徳高等学校、関西創価高等学校、東海大学菅生高等学校、昭和学院中学校・高等学校

□審査員特別賞

東海大学菅生高等学校

□バンドジャーナル賞

関西高等学校

□ブレーン賞

静岡県立掛川西高等学校

□フォトライフ賞

静岡県立遠江総合高等学校

□ヤマハ賞

千葉市立稲毛高等学校

■特別演奏及び特別表彰

小学校部門：鹿児島市立吉野東小学校

中学校A部門：久喜市立久喜東中学校

中学校B部門：柏市立酒井根中学校

高等学校A部門：柏市立柏高等学校

高等学校B部門：千葉県立幕張総合高等学校

名 称：No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

目 的：全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛

好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

内 容：「2014年度 第17回日本ジュニア管打楽器コンクール」(開催)

開催部門：ソロ部門(12楽器の部) / アンサンブル部門(木管の部・金管の部・打楽器の部)

コース：小学生コース / 中学生コース / 高校生コース

実施楽器：フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目：予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間：ソロ部門 小・中学生コース5分以内。高校生コース6分以内。

アンサンブル部門 小・中・高校生コース5分以内。

受付期間：2015年01月08日(木)～02月04日(水)まで

予選考会：2015年02月14日(土)～02月15日(日) <非公開>

本選考会：ソロ部門

2015年3月23日(月) フルード・ファゴット・トランペット

2015年3月24日(火) サクソフーン・ホルン・トロンボーン

2015年3月25日(水) クラリネット・オーボエ・テューバ

2015年3月26日(木) パーカッション・マリンバ・ユーフォニアム

アンサンブル部門

2015年3月27日(金) 打楽器の部・木管の部・金管の部

会 場：バリオホール(東京都文京区本郷4-15-9)

後 援：文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道北見地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、秋田県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、西関東吹奏楽連盟、新潟県吹奏楽連盟、群馬県吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、福井県吹奏楽連盟、富山県(学校)吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、高知県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、福岡吹奏楽連盟、佐賀県吹奏楽連盟、沖縄県吹奏楽連盟

協 力：一般社団法人日本フルード協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット(バスーン)協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本サクソフーン協会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本打楽器協会、日本木琴協会

協 賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社ドルチェ楽器、株式会社こおろぎ社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社図書出版、東京ミューズ・アカデミー、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社JT B関東

入賞者記念演奏会の実施

名 称：「第17回日本ジュニア管打楽器コンクール入賞者記念演奏会」

目 的：本選考会で入賞した全コースのソロ部門とアンサンブル部門の中から記念演奏会を開催。

日 時：2015年3月29日（日）13:00 開演

会 場：文京シビックホール 小ホール（東京都文京区春日 1-16-21）

入 場 料：1,000 円

運 営：運営委員長の石渡悠史氏（本公益財団理事）がソロ部門とアンサンブル部門における予選  
審査・本選審査を運営及び審査員へ指導などの統括を行った。

報 告：受賞者一覧

■文部科学大臣賞

小学生コース：金賞 田丸 夏鈴	船橋市立西海神小学校
中学生コース：金賞 山村 拓海	船橋市立海神中学校
高校生コース：金賞 立石 春花	習志野市立習志野高等学校

■ソロ部門

□フルートの部

小学生コース

金賞 藤枝 麻里花	水戸市立三の丸小学校
銀賞 西村 まどか	田園調布雙葉小学校
銅賞 日野 薫子	雙葉小学校

中学生コース

金賞 小川 紗季	新潟大学教育学部附属長岡中学校
銀賞 五十嵐 らん	国立音楽大学附属中学校
銅賞 畑澤 絵美理	玉川学園中学部

高校生コース

金賞 臼井 源太	神奈川県立逗子高等学校
銀賞 栗栖 朝帆	お茶の水女子大学附属高等学校
銅賞 渡邊 詩乃	埼玉県立大宮光陵高等学校

□ファゴットの部

中学生コース

金賞 平山 采佳	玉川学園中学部
----------	---------

高校生コース

金賞 栗城 典子	福島県立会津学鳳高等学校
銀賞 陶山 咲希	大阪府立豊中高等学校
銅賞 西口 真央	神奈川県立弥栄高等学校

□トランペットの部

小学生コース

金賞 木村 莉菜	日光市立今市第三小学校
銀賞 青木 優李	前橋市立東小学校
銅賞 吉田 一冨	三鷹市立第四小学校

中学生コース

金賞 渡邊 友香理	日光市立今市中学校
銀賞 横山 遥子	豊中市立第十一中学校
銅賞 岩崎 真琴	加古川市立浜の宮中学校

高校生コース

金賞 遠藤 海咲	千葉県立千葉女子高等学校
銀賞 高橋 美羽	東京音楽大学付属高等学校
銅賞 橋本 愛理	高松第一高等学校

□サクソフォーンの部

小学生コース

金賞 中村 香乃 船橋市立西海神小学校

中学生コース

金賞 中村 めい 都城市立西中学校

銀賞 鈴木 さくら 網走市立第二中学校

銅賞 吉田 春乃 香川県立高松北中学校

銅賞 外川 莉緒 遠軽町立遠軽中学校

高校生コース

金賞 五島 知美 福岡県立小倉高等学校

銀賞 前田 直哉 鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校

銅賞 齋藤 守 武蔵野音楽大学附属高等学校

銅賞 船迫 真衣 奈良県立高円高等学校

□ホルンの部

小学生コース

金賞 亀谷 爽太 旭市立矢指小学校

銀賞 稲村 歌乃 世田谷区立千歳小学校

中学生コース

金賞 福田 真子 世田谷区立千歳中学校

銀賞 横岸澤 静奈 北見市立東陵中学校

銅賞 後藤 文哉 船橋市立宮本中学校

高校生コース

金賞 鈴木 悠弘 埼玉県立芸術総合高等学校

銀賞 高崎 万由 名古屋市立菊里高等学校

銅賞 村田 愛佳 愛知県立刈谷北高等学校

□トロンボーンの部

小学生コース

金賞 栗城 凌太 釧路市立共栄小学校

銀賞 氏家 七海 日光市立今市第三小学校

中学生コース

金賞 山村 拓海 船橋市立海神中学校

銀賞 永森 絢女 網走市立第一中学校校

銅賞 伊藤 匠 練馬区立田柄中学校

高校生コース

金賞 亀岡 航紀 愛媛県立松山南高等学校

銀賞 吉永 真人 埼玉栄高等学校

銅賞 蓮野 友梨香 埼玉県立伊奈学園総合高等学校

□クラリネットの部

小学生コース

金賞 堀内 萌香 苫小牧市立豊川小学校

銀賞 森平 桃香 ひたちなか市立高野小学校

中学生コース

金賞 阿部 奈那子 苫小牧市立和光中学校

銀賞 郡 萌々香 稚内市立潮見が丘中学校

銅賞 金谷 瑞希 玉川学園中学部

銅賞 関根 凜 水戸市立第四中学校

高校生コース	
金賞 立石 春花	習志野市立習志野高等学校
銀賞 岩島 紗穂	浜松学芸高等学校
銅賞 十河 優花	高松第一高等学校
銅賞 福井 喬文	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校
□オーボエの部	
小学生コース	
金賞 沼津 冬秋	杉並区立杉並第一小学校
中学生コース	
金賞 小阪 彰太郎	名古屋市立神丘中学校
銅賞 本田 正輝	前橋市立東中学校
高校生コース	
金賞 八木 愛絵	東京農業大学第二高等学校
銀賞 河村 真歩	愛知県立明和高等学校
銅賞 小林 加奈	東京音楽大学付属高等学校
□チューバの部	
小学生コース	
金賞 本多 世奈	日光市立今市第三小学校
中学生コース	
銀賞 田口 愛海	八王子市立甲ノ原中学校
銀賞 島 圭佑	帯広市立西陵中学校
銅賞 吉田 怜生	茨城中学校
高校生コース	
金賞 木曾原 榛紀	東京都立総合芸術高等学校
銀賞 田村 相円	就実高等学校
銅賞 保田 麻央	京都市立京都堀川音楽高等学校
□パーカッションの部	
中学生コース	
金賞 工藤 誠也	山口市立鴻南中学校
銀賞 五井野 舜	海老名市立有馬中学校
銅賞 山村 瑠維	川口市立神根中学校
高校生コース	
金賞 伊藤 大貴	埼玉栄高等学校
銀賞 北島 友心	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校
銅賞 瀧澤 綾子	埼玉県立芸術総合高等学校
□マリンバの部	
小学生コース	
金賞 竹内 ゆりの	蒲郡市立形原北小学校
銀賞 林 まど子	世田谷区立千歳小学校
銅賞 溝口 凜々子	田園調布雙葉小学校
中学生コース	
金賞 小島 梨奈	仙台市立仙台青陵中等教育学校
銀賞 北 あかり	壬生町立南犬飼中学校
銅賞 加藤 冬華	横浜共立学園中学校
高校生コース	
金賞 横地 ちひろ	桐蔭学園高等学校
銀賞 佐藤 美玖	安城学園高等学校

- |            |             |
|------------|-------------|
| 銅賞 船山 花菜   | 常盤木学園高等学校   |
| □ユーフォニアムの部 |             |
| 小学生コース     |             |
| 金賞 田丸 夏鈴   | 船橋市立西海神小学校  |
| 中学生コース     |             |
| 金賞 市毛 結華   | 水戸市立第五中学校   |
| 銀賞 川内 愛    | 網走市立第一中学校   |
| 銅賞 本村 美雨   | 日光市立東原中学校   |
| 高校生コース     |             |
| 金賞 木村 玲    | 須磨学園高等学校    |
| 銀賞 吉川 優子   | 大阪桐蔭高等学校    |
| 銅賞 栗島 聖奈   | 群馬県立西邑楽高等学校 |
| 銅賞 野中 駿    | 栃木県立宇都宮高等学校 |

■アンサンブル部門

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| □打楽器の部           |           |
| 小学生コース           |           |
| 金賞 マリンバンビーノ E    | 打楽器五重奏    |
| 中学生コース           |           |
| 金賞 東金市立東中学校      | 打楽器八重奏    |
| 銀賞 高岡市立南星中学校     | 打楽器三重奏    |
| 銅賞 マリンバンビーノ U    | 打楽器三重奏    |
| 高校生コース           |           |
| 金賞 長野日本大学高等学校    | 打楽器七重奏    |
| 銀賞 八千代松陰高等学校     | 打楽器三重奏    |
| 銀賞 茨城県立日立第一高等学校  | 打楽器四重奏    |
| □木管の部            |           |
| 小学生コース           |           |
| 金賞 おいらせ町立木ノ下小学校  | クラリネット八重奏 |
| 銀賞 アンサンブル奏       | クラリネット五重奏 |
| 中学生コース           |           |
| 金賞 北部ウインドオーケストラ  | クラリネット五重奏 |
| 銀賞 東金市立東中学校      | フルート三重奏   |
| 銅賞 岡崎市立北中学校      | クラリネット四重奏 |
| 高校生コース           |           |
| 金賞 桐蔭学園高等学校      | クラリネット四重奏 |
| 銀賞 千葉県立八千代高等学校 A | 木管三重奏     |
| 銀賞 神奈川県立川崎北高等学校  | 木管八重      |
| □金管の部            |           |
| 小学生コース           |           |
| 金賞 茂木町立茂木小学校     | 管打八重奏     |
| 銀賞 新琴似北ブラスバンド    | 金管八重奏     |
| 中学生コース           |           |
| 金賞 紋別市立紋別中学校     | 管打八重奏     |
| 銀賞 宇都宮市立陽東中学校    | 金管八重奏     |
| 銅賞 岡崎市立北中学校      | 金管八重奏     |
| 高校生コース           |           |
| 金賞 修徳高等学校        | 金管八重奏     |

銀賞 長野県豊科高等学校 金管八重奏  
銅賞 茨城高等学校・中学校 金管八重奏

名 称：No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

目 的：作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。そこで私どもは、あるテーマ（課題）を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実地的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指し、今までに在るようで無かった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンクールを開催します。

内 容：「2014年度 第2回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課 題：「東北・未来」

応募期間：2014年04月14日～2014年06月16日

応募方法：財団ホームページによるオンライン応募

選考期間：2014年6月20日（金）～2014年6月27日（金）PCによるデータ審査

表彰式：2014年7月02日（水）クリエイターEXPO 東京 会場内（東京ビックサイト）

運 営：顧問 赤松 昌代 （公益財団法人日本音楽教育文化振興会理事長）  
運営委員長 佐々木 隆一 （株式会社モバイルブック・ジーピー代表取締役会長）  
実行委員長 松尾 祐孝 （チーフ・プロデューサー）  
実行副委員長 松井 朋巳 （プロデューサー／ホームページ&広報担当）  
審査員：特別審査員 渡辺 俊幸 （作曲家・編曲家）  
特別審査員 千住 明 （作曲家・編曲家）  
審査員長 松尾 祐孝 （作曲家・音楽プランナー）  
審査員 山下 康介 （作曲家・編曲家）  
宮木 朝子 （作曲家・サウンドクリエイター）  
小阪 淳 （美術家・映像クリエイター）

協 力：リード エグジビション ジャパン株式会社

後 援：日本現代音楽協会、一般社団法人日本作編曲家協会、一般社団法人日本作曲家協議会

報 告：グランプリ 1作品、ファイナリスト 4作品、奨励賞 2作品

■グランプリ 阪本 衛（所属：東京音楽大学）

□作品名：「未来」

私たちは3.11を経験し、多大な被害を受けました。そして私たち日本国民はその大きな困難を前に今戦っています。今一番戦っている人たちは被災者の皆さんです。

私はこの曲を作る上で一つの物語を想像しました。東日本大震災が起り、人々は悲しみに包まれるも、助け合い協力しあい前へ進み始めていた。しかし原発や津波の被害を受け変わり果ててしまった故郷、そして愛する者、家族を失った悲しみ…私は今でも涙を流していた東北の人たちが忘れられません。それでも力強く、懸命に、再建へと歩いていく東北の人たち、日本国民に感銘を受け、「未来」と名づけてこの曲

を作曲しました。

○プロフィール

6歳からエレクトーン教室に通い始める。高校からピアノ、作曲法、和声法を学び始める。高校を卒業後、東京音楽大学作曲指揮映画放送音楽コースに入学。今までに作曲を、渡部学、堀井勝美、後藤加寿子、藤原豊、各氏に師事する。

■ファイナリスト 羽鳥 沙也夏 (所属：愛知県立芸術大学)

□作品名：「nature」

「東北」という言葉を口にすると私は、豊かな自然や歴史的な文化財、寒さや美味しい食べ物等をイメージします。特に、「自然豊か」の印象がとても強いです。自然は人々に様々な恩恵をもたらしてくれます。しかし時には人々を苦しめることもあります。地震、大雨、土砂崩れ、大雪、そして津波も。自然の脅威は恐ろしいです。恐ろしいですが、自然が無くては人は生きていけないと思います。脅威だけではなく、癒しや生きる糧を与えてくれます。そんな自然を、これからも壊さずにずっとあり続けて欲しいと思い、作曲しました。

○プロフィール

3～17歳まで、ヤマハ音楽教室に通う。6歳よりエレクトーンを宇津木直美氏に、10歳より作曲・ピアノを小林佳子氏に師事。第36回ジュニアオリジナルコンサートに出場、Bunkamura オーチャードホールにて自演。ジュニアエレクトーンフェスティバル2009全日本大会高校生部門にて金賞受賞。大学入学後、作曲を小林聡氏に師事。2014年2月、坂ノ上.com 作曲作品演奏会 vol.3 で、5R Hall&Gallery 音楽ホールにて『一揆』～SHIMABARA～』を発表。第16回TIAA全日本作曲家コンクール室内楽部門にて1,2位該当者無しでの3位入賞。

■ファイナリスト 大久保 晶文 (フリーランス)

□作品名：「into the battlefield」

○プロフィール

各アーティスト、映画、TV、CM等の作曲、編曲、サウンドプログラミング、スコアモックアップ制作など幅広いジャンルで活動中。HP <http://www.m-okubo.net>

■ファイナリスト 佐藤 未知瑠 (所属：フェイス音楽出版)

□作品名：「Rebirth」

未来に向かって力強く生まれ変わる様を表現しました。メインの主題にオンドマルトノを使い、コーラスとの掛け合いにより、魂の生まれる瞬間を思わせる音空間を構築しました。(共同制作者/作詞：外間隆史、オンドマルトノ：久保智美、コーラス：ほりおみわ、清水万耶子)

○プロフィール

2006年東京芸術大学大学院修了。2009年横浜開港博Y150にてパピリオン『冰山ルリの大航海』音楽を担当。同年、作品アルバム『World's End Village』を国内外でリリース。2011年スタジオジブリ短編映画『たからさがし』の音楽を担当、三鷹の森ジブリ美術館にて公開。2013年『ドラマ たべるダケ(2013 テレビ東京)』『短編映画 美人の多い料理店(2013 NHK)』等の音楽を担当し、活動の幅を広げている。

■ファイナリスト くぼた あきゆき（フリーランス）

□作品名：「五穀豊穰」

力強く足を踏み鳴らし、みんなで手を叩き、掛け声、悲観や悲嘆ではなく、勇気と希望を胸に光らせて、今一度豊穰を願う未来を力強く拓いて変えていける、今に生きる活気溢れる東北の方達を祈念して制作しました。

○プロフィール

2013年 映画「モンゴル野球青春期」LosAngels All sports Festivalにて作品がグランプリ受賞。2014年 自身のユニット SunnyPlace が eco japan cup 2013 カルチャーミュージック部門でグランプリ無しの準グランプリを受賞。

■奨励賞 Wong Xiao Thong-ウォン シャオトナー（所属：尚美学園大学大学院）

□作品名：The Fight For One Is A Fight For All 【一人の闘いはみんなの闘い】

「時々まだ余震が起きます。余震以外にも、予測外のことも時々起きます。私の気持ちをわかることのできる方はいたりしません。何故なら、家族や友達、周りにいた人でも、あの日に経験したことが同じであっても、あの日からの闘い、これからの闘いは、それぞれ異なります。口にはしません。顔にも映りません。むしろ、自分の為にも、周りの人の為にも、してはいけません。前向きで生きていく。いつになっても、一人の闘いです、孤独の闘いです。今まで、これから、将来がどんなことがあっても、良いことであれ、悪いことであれ、あの日に繋がっていることに変わりません。」実際に東北へボランティア活動をしに行った際に、現地の方々と時間を過ごしてきたことから感じたことです。現地の方々に、貴方が経験した、していることを理解することができないこと自体を、理解していること意思を見せて、話を聴くだけが、最も相手に求められることだと思います。理解しようとする必要はありません。応援するだけで良いと思います。これは、私が東北の方々から感じたこと、そしてそこで出逢えた方々への応援の気持ちを込めて、創作した作品です。

○プロフィール

東京を中心に作編曲、サウンドデザイン、ライブ（ピアノ・キーボード・唄）音楽活動をしています。

■奨励賞 高木 文世（フリーランス）

□作品名：「Goodness」

未来の東北の地が、自然と人間が共存し、生き生きとした大地と海の恵みで繁栄する土地になりますようお願いを込めて制作致しました。

○プロフィール

国立音楽大学附属高等学校を経て国立音楽大学電子オルガン専攻を首席卒業。同大学専門過程作曲コース終了。武岡賞受賞。

公益事業3 音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

名 称：No. 7「全日本市民バンドフェスティバル」

- 目的：全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」を開催し、演奏会を行う。
- 内容：「2014年度 第7回全日本市民バンドフェスティバル」（開催）  
2014年12月07日（日）13：00～18：00
- 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール
- 後援：一般社団法人日本管打・吹奏楽学会
- 協賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレイン株式会社、株式会社JTB関東、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- 特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校
- 報告：出演団体 計10団体
- ・アマーチェ・シティウィンズ
  - ・横浜栄区民吹奏楽団
  - ・郁文館夢学園ブラスバンド部
  - ・よつば吹奏楽団
  - ・千葉県市川市立第八中学校吹奏楽部
  - ・大江戸シンフォニックウィンドオーケストラ
  - ・横浜市立富岡中学校
  - ・KATZE WIND ORCHESTRA
  - ・やまももシンフォニックバンド
  - ・CHIBA TRAILBLAZERS

名称：No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

（略称：イムスタ International Music Software Trade Association）

- 目的：違法コピーは蔓延している昨今、2008年のIMSTA委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。
- 内容：①Facebookでの普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>  
啓蒙活動予定：イベントプロモーションを行う。
- ②広報活動  
IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及びWEBへの掲載。  
<http://www.imsta.org/japan/index.php>
- ③ヤフーオークション他へのIMSTA委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。
- ④店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。
- ⑤警視庁サイバーポリスと協力して悪質な違法業者の検挙、法的処置を行う。